

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 62-085592

(43)Date of publication of application : 20.04.1987

(51)Int.Cl.

H04N 9/29

(21)Application number : 60-226531

(71)Applicant : MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing : 09.10.1985

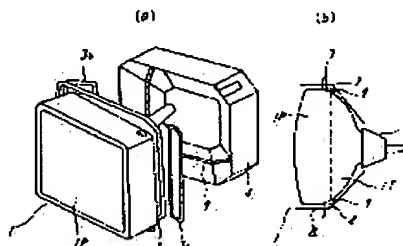
(72)Inventor : CHIHARA KAZUHIRO

(54) COLOR CATHODE RAY TUBE

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent the occurrence of a color blurring phenomenon on a large-sized color cathode ray tube by installing a degaussing coil inside an external magnetic shield with the prescribed plate thickness, which encloses from a funnel part to the forward side part of a panel part.

CONSTITUTION: The external magnetic shield EMS4 exists expanding to the front of the color CRT1 in order to cover practically the entire part of the panel 1P as well as the funnel 1F. A magnetic cancel coil 2 or a pair of magnetic cancel coils 3a and 3b are interposed between the CRT1 and the EMS4. Thus even a clearance between a screen and a shadow mask can be covered by the EMS4, whereby external magnetic fluxes in directions E/W and BV can be effectively reduced.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-85592

⑮ Int. Cl.⁴

H 04 N 9/29

識別記号

庁内整理番号

Z-8420-5C
B-8420-5C

⑬ 公開 昭和62年(1987)4月20日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 カラーブラウン管

⑯ 特 願 昭60-226531

⑰ 出 願 昭60(1985)10月9日

⑱ 発 明 者 千 原 一 浩 長岡京市馬場園所1番地 三菱電機株式会社京都製作所内
⑲ 出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号
⑳ 代 理 人 弁理士 大岩 増雄 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

カラーブラウン管

2. 特許請求の範囲

外部磁気シールドを、そのファンネル部から、これにつづくパネル部側面の前方までを一体にとり囲む形状に構成してその板厚を0.5~1.5mmの範囲に設定し、上記外部磁気シールドの内側に消磁コイルを設けたことを特徴とするカラーブラウン管。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、磁気シールドを有するカラーブラウン管に関するものである。

〔従来の技術〕

現在、通常用いられているカラーブラウン管における地磁気等の不要な外部磁気対策には、一般に、第3図(a)に示すようにカラーブラウン管(1) (カラーCRTと略記する)の内部にシャドウマスク(1a)に結合装着された内部磁気シールド板(1

b) (IMSと略記する - Internal Magnetic Shield) を設けることによって行われている。このIMS(1b)は鉄板で構成されることが一般的であり、カラーCRT(1)の外周に設けた消磁コイル(8)と組み合わせて用いることにより磁気シールド効果を持たせ、外部磁界がカラーCRT(1)内の電子ビームに影響を与えにくくするように設計されている。カラーCRT(1)に対する外部磁気対策として、上記したIMS(1b)を用いた、いわゆるIMS方式が主流になる以前では、第3図(b)に示すようにカラーCRT(1)の取り付けラグ(7)の穴と共に係止するタイプの外部磁気シールド板(5) (EMSと略記する - External Magnetic Shield) をカラーCRT(1)の外周に設けることが行われている。ここで、第3図(a)及び(b)に示す(5)は偏向ヨークである。上記EMS(5)はカラーCRT(1)のファンネル(1F)の大部分を覆っているが、パネル(1P)の大部分は覆われておらず、このため、その磁気シールド効果は不十分であると共に、カラーテレビジョン受像機内にかさばること、コスト高になるこ

と、取り付け作業量が増加すること、などから次第に使用されなくなり、現在では上記第3図(a)に示すIMS方式が主流となって広く使用されている。

一方、最近ではカラーCRT(1)の大形化の動きが顕著となり、特に高品位TVにおいては40インチ程度のものが開発されている。このようなカラーCRT(1)の大形化が進むと、電子ビームの電子銃からスクリーンまでの走行距離が飛躍的に大きくなり、外部磁気対策は非常に困難になって来る。第4図は37インチ110°偏向カラーブラウン管の磁気シールド方式と電子ビームの移動量との関係を示す説明図である。第4図は、外部磁界を0.8 Gauss変化させた時に、画面コーナ部における蛍光面上の水平方向電子ビームランディングシフト量をプロットしたものである。第4図において、水平方向電子ビームシフト量を記入している理由は、37インチ110°偏向カラーCRTの蛍光面をストライプ構造に想定していることによるものであり、これがドット構造では垂直方

向電子ビームシフト量も問題になるが、ここでは、ストライプ構造の例について説明することにする。第4図中、E/Wは東西方向の磁界を、N/Sは南北方向の磁界を、B/Vは垂直方向の磁界をそれぞれ意味している。第4図から明らかなように、各IMS、EMSとも設けない各NONIMS、NONEMS方式では、E/W方向を除き電子ビームの移動量が極端に大きく使いものにならないことが明らかである。

同様に第4図において、従来のカラーテレビジョン受像機におけるカラーCRT(1)のIMS方式では、かなり電子ビームの移動量が抑えられているものの、実用となる限界移動量の150 μ mには及ばない。この限界移動量はカラーCRT(1)の種類によって異なるが、本例における37インチ110°偏向カラーCRTでは、上記の限界移動量(150 μ m)の値が実用可否の目安となる値である。したがって、上述した第3図(b)に示すEMS方式では、さらに、第3図(a)に示すIMS方式より電子ビームの移動量が大きくなって実用

にはならないという問題点があった。

なお、第4図における電子ビームの移動量は、地磁気の影響を受けて着磁したEMS(6)、IMS(1b)、シャドウマスク(1a)などをハンドタイプの消磁コイルで、カラーCRT(1)の外部から十分に消磁を行なった後の移動量を示したものである。実際の実用状態では、カラーCRT(1)の周囲に巻回された消磁コイル(8)にて消磁が行われている。

〔発明が解決しようとする問題点〕

しかしながら、37インチ110度偏向などの超大型カラーCRTでは、上記着磁体積が増大し、消磁コイルでの消磁効率が悪くなる。また、超大型外部磁気シールドの補強対策として板厚を厚くする方法がとられており、やはり消磁効率を悪くしている。

この発明は、かかる問題点を解決するためになされたもので、大形インチサイズのカラークRTにおいて、超大型外部磁気シールドの補強対策と消磁コイルによる消磁効率との関係を最良のものとし、外部磁界に対する電子ビームの移動量を抑

制し、きわめて大きなシールド効果を得て、色ずれをなくす実用的な外部磁気対策を施したカラークブラウン管を得ることを目的とする。

〔問題点を解決するための手段〕

この発明に係るカラークブラウン管は、ファンネル部から、これにつづくパネル部側面の前方までを一体にとり囲む形状の外部磁気シールド板を設け、その板厚を0.5～1.5mmの範囲に設定すると共に、この外部磁気シールド板の内側に消磁コイルを設けたものである。

〔作用〕

この発明におけるカラークブラウン管においては、カラークブラウン管の外側にファンネルとパネル側面の大部分を覆う外部磁気シールド板を設けて、外部磁界による電子ビームの移動量を低減させ、消磁コイルを外部磁気シールド板の内側に設けることにより、外部磁気シールド板を磁心とした効率の良い消磁作用を得ることができるので、外部磁気シールドの軽量化を計ることが可能となる。

〔実施例〕

第1図(a)はこの発明の一実施例であるカラーテレビジョン受像機に用いるカラーブラウン管を示す斜視図、第1図(b)は、第1図(a)のカラーブラウン管の概略側断面図である。図において、(1)はカラーCRT、(1F)はカラーCRT(1)のファンネル、(1P)はカラーCRT(1)のパネル、(4)はカラーCRT(1)のファンネル(1F)とパネル(1P)側面の大部分を覆うような構造の外部磁気シールド板、すなわちEMSであり、このEMS(4)は、第3図(b)に示すEMS(6)とは異なり、ファンネル(1F)以外にパネル(1P)の大部分をも覆うように、第1図(b)に示すようにカラーCRT(1)のかなり前面にまで延在させる構造を有する。また、(2)はN/S方向の外部磁界に対する磁気キャンセルコイル、(3a)、(3b)はE/W方向の外部磁界に対する一対の磁気キャンセルコイルであり、カラーCRT(1)とEMS(4)の間には磁気キャンセルコイル(2)を介在させるか、また場合によっては、一対の磁気キャンセルコイル(3a)、(3b)を介在させるようにしている。なお、第1図(b)には、図面の説明の都合上、上記

一対の磁気キャンセルコイル(3a)、(3b)は省略してある。また、(5)は偏向ヨーク、(7)はカラーCRTの取り付けラグ、(9)はEMS(4)の内側に設けた消磁コイルである。

第1図(a)及び(b)に示すカラーCRT(1)において、第4図を参照すれば明らかなように、EMS(4)の磁体、もしくはEMS(4)と第3図(a)に示す従来のIMS(1b)とを組み合わせた磁気シールド方式では、共に従来のIMS(1b)の単体方式に比べて大きく電子ビームの移動量は低減しており、特に、各E/W方向及びBV方向の外部磁界に対しては限界移動量(150 μ m)以下に低減されている。しかしながら、N/S方向の外部磁界については未だに限界移動量を越えている。この理由は、カラーCRT(1)の前面である画像映出部のスクリーンを磁気シールド板で覆うことができないという物理的な制約がネックになっていることに起因する。しかしながら、上記EMS(4)が各E/W、BV方向の外部磁界に対して効果的である理由は、スクリーンとシャドウマスクの空隙をもEMS(4)

で覆うことになる構成によるものと考えられ、特に、カラーCRT(1)として大形インチサイズでは上記寸法が大きくなることから非常に効果的となる。

さて、EMS(4)におけるN/S方向の外部磁界については、電子ビームの限界移動量を越えて磁気シールド不足となる。このような磁気シールド不足については、第1図(a)及び(b)に示すように、カラーCRT(1)の外周を囲むように設けた数10〜数100ターン巻回した輪状の磁気キャンセルコイル(2)をEMS(4)の内側に介在させ、この磁気キャンセルコイル(2)に直流電流を通電することにより、第2図に示すように、外部磁界(第2図に破線で示す)をキャンセルさせるようにキャンセル磁界(第2図に実線で示す)を発生し、見掛け上は上記外部磁界が存在しない状態とすることにより、有効的に電子ビームの移動を防ぐことができる。このような方式では、EMS(4)を磁気コアとして上記キャンセル磁界を非常に効率良く発生させることができる。例えば、0.3 Gauss (gauss)

のN/S方向の外部磁界をキャンセルさせるに足る磁気キャンセルコイル(2)に必要な通電量は4アンペアターン(AT)であった。これは、IMSの単体方式の場合に、同一要領で外部磁界をキャンセルするに必要な通電量の約1/2であり、アンペアターン効率が2倍良い(電力効率が4倍)ことを意味している。また、第4図に示す場合において、BV方向の外部磁界に対しては磁気シールドが十分であるが、E/W方向の外部磁界に対しては実用上で問題ないとは云え、電子ビームの限界移動量に近付いている。この場合には、第1図(a)に示すように、カラーCRT(1)の側面部に対向する一対の磁気キャンセルコイル(3a)、(3b)を、磁気キャンセルコイル(2)と同様にカラーCRT(1)とEMS(4)との間に介在させ、上記一対の磁気キャンセルコイル(3a)、(3b)に直流電流を通電することにより補正することができる。

第5図は37インチ110度偏向カラーCRTのEMS(4)の板厚と磁気キャンセルコイル(2)による電子ビームの移動量の関係を示す説明図である。

第5図は特に四隅としているN/S方向の外部磁界を0.8 Gauss変化させた時の両面コーナ部における電子ビームの移動量を示しており、ハンドタイプの消磁コイルで十分に消磁を行なった後の電子ビームの移動量を実線(a)で示している。第5図から明かなように、EMS(4)の板厚を大きくすると、電子ビームの移動量を抑制する方向となる。ところが、このEMS(4)の使用でカラーCRTの外周に設けた従来タイプの消磁コイル(8)での消磁特性を調べた結果、第5図に一点鎖点(b)で示す値となった。超大型EMS(4)の磁化される体積が増大するにつれ、消磁能力の低下につながっている。ハンドタイプの消磁コイルでの特性(a)と一致させるには、消磁コイルのアンペアターンを増やさなければならずコストアップとなる。第1図に示す本発明の消磁コイル(9)を用いて発明者が行なった実験によれば、第5図に破線(c)で示すごとく、EMS(4)の板厚が1.5mm付近まではハンドタイプの消磁コイル使用と同程度の消磁効果とすることができる。これはEMS(4)を磁心として効

率良く磁界を発生させるからである。実際の実用状態として、0.5mm以下のEMS(4)の板厚では強度的に使用できないので、0.5mm~1.5mmが有効な板厚の範囲となる。

〔発明の効果〕

この発明は以上説明したとおり、ファンネル部から、これにつづくパネル部側面の前方までを一体にとり囲む形状の外部磁気シールドを設けてその板厚を0.5~1.5mmの範囲に設定し、さらに、この外部磁気シールドの内側に消磁コイルを設けるように構成したので、ハンドタイプの消磁コイルと同程度の消磁効果が得られ、特に大形インチサイズのカラーブラウン管に特有な外部磁界による電子ビームの大きな移動量を極力軽減して、色ずれの問題を実用的になくすることができるという優れた効果を奏するものである。

4. 図面の簡単な説明

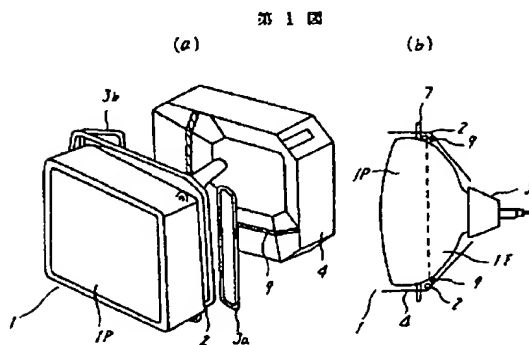
第1図(a)はこの説明の一実施例を示す斜視図、第1図(b)は、第1図(a)のカラーブラウン管の概略側断面図、第2図は、第1図(a)のカラーブラウン

管の動作を説明するための図、第3図は従来のカラーブラウン管に対する磁気シールド方式を説明するための図、第4図は37インチ110°偏向カラーブラウン管の磁気シールド方式と電子ビームの移動量との関係を示す説明図、第5図は37インチ110°偏向カラーブラウン管の外部磁気シールドの板厚と電子ビームの移動量との関係を示す説明図である。

1…カラーブラウン管、1P…パネル、1F…ファンネル、4…外部磁気シールド板、9…消磁コイル。

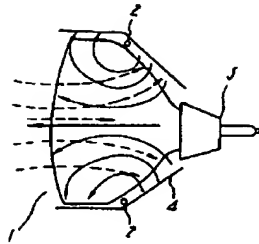
なお、各図中、同一符号は同一、又は相当部分を示す。

代理人 大 岩 増 雄

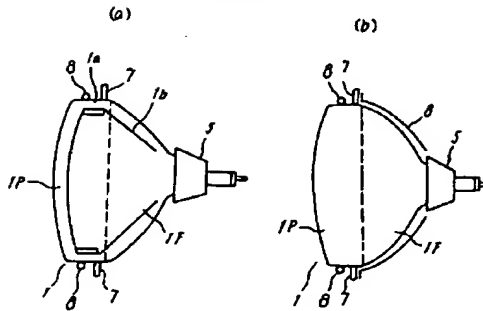


1: カラーブラウン管
1P: パネル
1F: ファンネル
4: 外部磁気シールド板
9: 消磁コイル

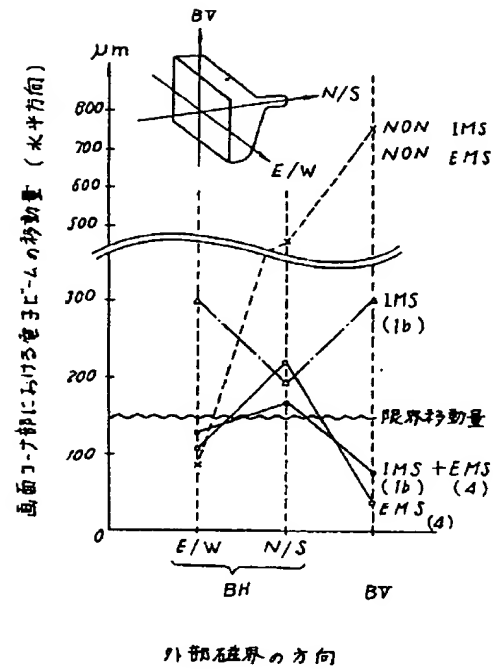
第2図



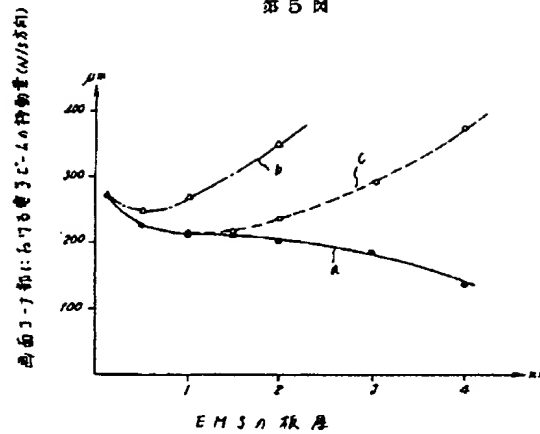
第3図



第4図



第5図



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.